科目ナンバリング	U-LAS06 10002 LJ41						
授業科目名 <英訳>	法学 Jurisprudence			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　菊池　亨輔		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

私たちの日常生活を取り巻いている法という仕組みに関する学問が法学である。本講義では、法の知識に触れつつも、方法や思考枠組みに重点を置く。すなわち、日本法の基本的内容を広く紹介するというよりも、法を用いて紛争解決をしていく際の作法と思考方法に焦点を合わせることで、法学（特に法解釈学）という分野の基本的な特徴を伝えることを目的とする。

[到達目標]

①法学や裁判制度に関する基本的な知識を習得する。
②条文を読むための作法を理解し、初歩的な条文読解能力を獲得する。
③条文を解釈するための方法を理解し、ルールを用いて事案に解決をもたらす法的思考方法の基礎を身につける。

[授業計画と内容]

概ね以下の内容を扱うが、授業の進度に応じて時間配分等を変更することがある。

第１回　オリエンテーション（授業の進め方と全体像の提示）
第２回　日本の裁判所制度
第３回　ルールに基づく紛争解決――法的三段論法
第４回　法的三段論法における「論理」と法的思考過程
第５回　法の分類と体系
第６回　条文に親しむ――呼び方・特定の仕方
第７回　文理解釈（１）――法令用語の基礎
第８回　文理解釈（２）――条文読解の実践
第９回　体系的解釈
第１０回　歴史的解釈
第１１回　目的論的解釈
第１２回　反対解釈と類推
第１３回　帰結主義論法と判例解読
第１４回　判例における解釈方法の析出
≪期末試験≫
第１５回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

内容確認のため３回程度出題する課題の提出（20%）と定期試験（80%）により評価する。

法学(2)へ続く↓↓↓

法学(2)

[教科書]

講義資料を配布するので、印刷するなどして閲覧できるようにすること。また、小型の六法等、条文が見られるものも適宜用意されたい。

[参考書等]

（参考書）
石山文彦 『ウォーミングアップ法学　第2版』（ナカニシヤ出版、2021年）ISBN:9784779515651
田中成明 『法学入門　第3版』（有斐閣、2023年）ISBN:9784641126404

[授業外学修（予習・復習）等]

予習・復習に際しては、実際に条文を読むことで、法律学の言葉づかいに触れること。
講義資料の内容を自分なりに整理するとともに、掲載する設問に取り組んでみてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]